

## 研究課題名

### 「胸腔鏡下気管膜様部後方固定術の有用性の検討」に関する情報公開

#### 1. 研究の対象

2013年から2020年の期間において、当院で食道閉鎖症に対して胸腔鏡下一期的食道閉鎖症根治術を受けられ気管軟化症を合併された方。

#### 2. 研究目的・方法・研究期間

○目的 食道閉鎖症にはしばしば気管軟化症が合併します。気管軟化症を合併した方は、術後また退院後長期に渡って人工呼吸器管理を必要とされたり、また気管切開術や大動脈吊り上げ術など追加の外科治療が必要になる場合があります。本研究の目的は、初回の胸腔鏡下一期的食道閉鎖症根治術時に、気管軟化症を軽減するために当院では気管膜様部後方固定術を追加で施行しており、その有効性と意義を明らかにすることになります。

○方法 2013年から2020年までに胸腔鏡下一期的食道閉鎖症根治術を受け気管軟化症を合併された方を対象に、気管膜様部後方固定術を施行した方とそうでない方の患者背景や手術情報（術式、術中所見、手術時間、出量等）、術後経過（合併症、栄養開始時期、気管軟化所見等）について診療録より抜粋し、比較検討します。

○研究期間 実施承認日から2022年12月31日

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：手術時日齢・体重、手術時期、手術時間、出血量、術後経過（合併症、挿管日数、経口摂取開始時期、ドレーン抜去時期、術後30日の時点での呼吸器補助の可否など）

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 安井 昭洋

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980